

【資料5】

増尾4丁目付近のマンホールから
汚水があふれる事故が発生した件
について

令和5年2月17日
上下水道局下水道工務課

下水道工務課発注の工事に伴い、令和5年1月10日(火)にマンホールから、汚水があふれる事故が発生しました。

【工事概要】

- ・ 工事件名：公共下水道施設耐震化工事
(その1)
- ・ 工事場所：柏市増尾842番先
- ・ 概要：工事延長 L = 123m
管きよ更生工φ700mm
- ・ 発生日時：令和5年1月10日 (火)
12時30分～21時15分

【被害状況】

- ・ マンホールから汚水があふれ：4件
- ・ 宅内汚水枡からのあふれや
汚水の滞留：1軒
- ・ 道路舗装の破損：1箇所
(事故翌日に被害状況を確認)



【原因】

- ・ 施工時に工事区間の汚水を迂回させるために設置した2台のポンプのうち、1台が排水ホースの接続不良により、一時的にポンプを停止したことで排水能力が低下した。
- ・ 汚水の迂回は、受注者の責において、検討・施工すべきところ、受注者が施工前に汚水流量の確認が十分にできていなかったため、設置したポンプの能力が、汚水流量の時間変動に対して不足してしまった。
- ・ 発注者としても、受注者の施工計画に対し、確認が不十分であった。

【事故後の対応】

- ・ 事故によって被害のあった箇所清掃や消毒作業を実施。
- ・ 損傷のあった道路の舗装復旧作業を行う。

【再発防止策】

- ・ 事前に流量を把握したうえでポンプ能力を決定し施工前に試験的に仮排水を行い、ポンプの能力が十分に足りているか確認を行う。
- ・ 不測の事態に備え予備のポンプ等を用意し、上流部に観測人員を配置する。

※再発防止策を講じて当該工事を再開した。

〈参考〉 採用した工法：管更生工法（形成・反転工法）
工法名：FFT-S工法

既設管内側に更生材を入れ、熱で硬化させて、管を補強する工法

既設管にたわみが無ければ 採用可能で、既設管が深い場所にある時に、開削せずに工事ができるため、安価かつ工期が短い。 ※管更生工法として一般的な工法

既設管内の工事のため、管内を洗浄する前に仮排水工（水替え工）を行い、止水した後に作業をする必要がある。

